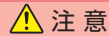


FDR-820

通信設定する



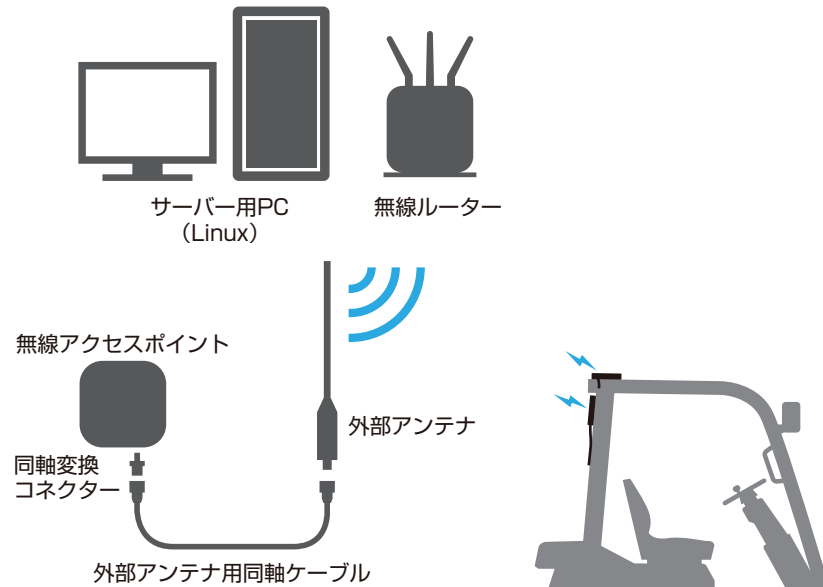
注意

使用するネットワークの管理者と設定を行ってください。

■ 例：参考システム例

使用環境によって必要なものは異なります。環境に応じてシステム構築を行ってください。

※通信が切断されないように環境を整えてください。



①使用するサーバー PCにサーバーアプリをインストールして起動する

※システム導入時に行ってください。

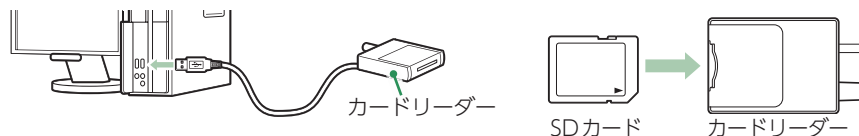
②FDR-820を起動して無線LAN/LTEでデータを送信する

※サーバー内に本機 (FDR-820) の機器ID名のフォルダが作成されます。

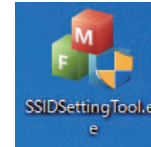
※上記で作成されたフォルダ内に日付別でフォルダが作成されます。日付フォルダ内にはnormal (常時録画)、event (イベント記録)、log (履歴記録) フォルダが作成され、それぞれのデータが保存されます。

※データを再生するときはPC Browserで再生してください。

1. カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードを接続する



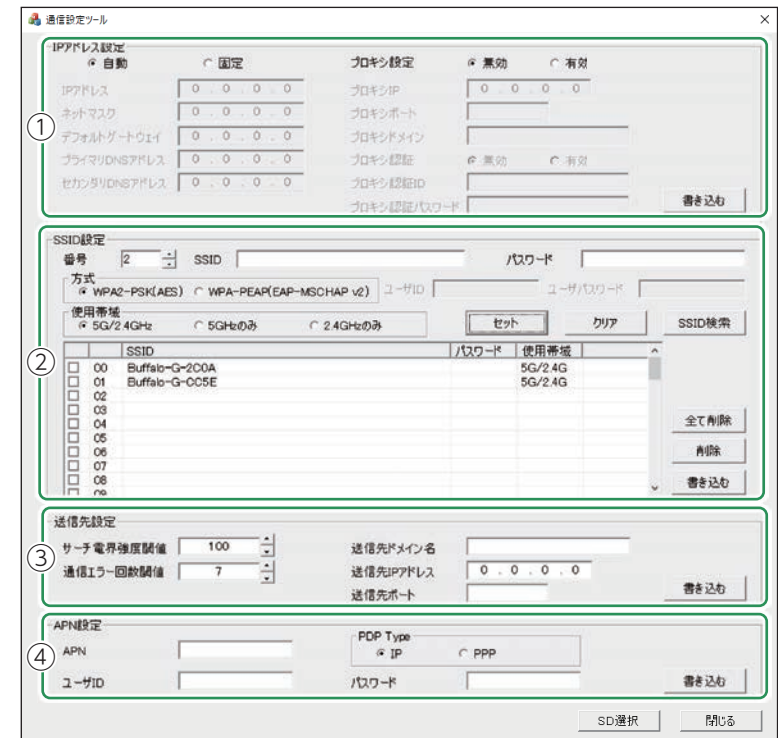
2. 通信設定用のアプリを起動する



3.[SD 選択] をクリックし、[DRIVEREC1] を選択して [OK] をクリックする



4.IP アドレス設定/SSID 設定/送信先設定/APN 設定 (※ 1) を行う



※ 1：OP-LTE1 使用時に設定が必要になります。

設定変更後は、必ず各設定項目の[書き込む]をクリックして設定をSDカードに保存してください。

※ config フォルダ内に設定ファイルは作成されます。

(IP アドレス設定：ipcfg.ini、SSID 設定：ssid.ini、送信先設定：apchange.ini、APN 設定：lte_info.ini)

※ドライブレコーダーに設定反映後は、上記ファイルは削除されます。必要に応じてバックアップしてください。

① IPアドレス設定(ipcfg.ini)

★：初期値

表示名	説 明
IPアドレス設定	IPアドレスの取得方法を選択します。[★自動][固定] ※[固定]を選択した場合、IPアドレス/ネットマスク/デフォルトゲートウェイ/プライマリDNSアドレス/セカンダリDNSアドレスを入力してください。
プロキシ設定 (☛ P.4)	プロキシサーバーに関する設定をします。[★無効][有効] ※[有効]を選択した場合、プロキシIP/プロキシポート/プロキシドメイン/プロキシ認証/プロキシ認証ID/プロキシ認証パスワードを入力してください。

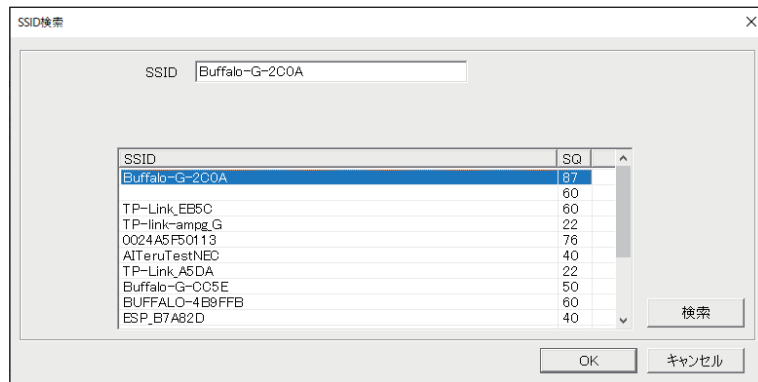
② SSID 設定(ssid.ini)

★：初期値

表示名	説 明
番号	登録するSSIDが複数ある場合に番号を変更しSSIDを番号管理します。[0~49] ※[書き込む]をクリックした後に番号が自動で変更されます。(0⇒1⇒2)
SSID /パスワード	使用するアクセスポイントのSSID名/パスワードを入力します。[30文字以内] ※使用可能な文字は半角英数字および「- (ハイフン)」 「_ (アンダースコア)」です。 ※大文字小文字を区別します。入力時にはご注意ください。
方式	セキュリティパターンを選択します。[★WPA2-PSK(AES)][WPA-PEAP(EAP-MSCHAP v2)] ※[WPA-PEAP(EAP-MSCHAP v2)]を選択した場合、ユーザーID/ユーザーパスワードを入力してください。
使用帯域	使用する帯域を選択します。[★5G/2.4GHz][5GHzのみ][2.4GHzのみ]
セット	入力したアクセスポイントのSSID名/パスワード/使用帯域を登録します。
クリア	入力したSSID/パスワードを消去します。
SSID 検索	SSID 検索画面を表示します。(下記参照「■SSID検索画面」)
全て削除	登録したSSIDを全て削除します。
削除	チェックを入れ[削除]をクリックすると登録したSSIDを削除します。

※アクセスポイントを新たに追加する場合、以前に設定した番号より小さい番号にするとあらかじめ登録されていた情報は削除されます。アクセスポイントを新たに追加する予定がある場合は、初期設定をバックアップすることをお勧めします。(5.通信設定のバックアップを作成する)

■ SSID検索画面



[検索]をクリックでパソコン上で検索されてアクセスポイントを一覧で表示します。SSID名をダブルクリックでSSIDに入力されます。

③ 送信先設定(apchange.ini)

★：初期値

表示名	説 明
サーチ電界 強度閾値	閾値を下回った場合、アクセスポイントを再検索/再接続します。 [0~100(★100)](推奨：80) 100：アクセスポイントを1台だけ用いてデータを送信する場合に設定してください。 0~99：閾値を下回った場合、アクセスポイントを再検索/再接続します。アクセスポイントが複数ある場合、電界強度によってアクセスポイントを切り替えます。
通信エラー 回数閾値	通信エラーの回数が閾値を上回った場合、アクセスポイントを再検索/再接続します。 [0~255(★7)](推奨：7)
送信先 ドメイン名	データを送りたいドメイン名を入力します。
送信先IP アドレス	データを送りたいIPアドレスを入力します。 ※[送信先ドメイン名]で接続できない場合に入力してください。
送信先ポート	データを送信するサーバー側のポート番号を入力します。

④ APN 設定 (lte_info.ini) (※ OP-LTE1 使用時のみ)

★：初期値

表示名	説 明
APN	使用するSIMカードのAPNを入力します。(例：lte.yupiteru.ne.jp)
PDP Type	使用するPDPタイプを選択します。[★IP][PPP]
ユーザー ID	使用するSIMカードのユーザー IDを入力します。(例：user@yupi)
パスワード	使用するSIMカードのパスワードを入力します。(例：password)

5.通信設定のバックアップを作成する(必要に応じて)

SDカード⇒configフォルダ内のipcfg/ssid/apchange.ini ファイルをコピーし、パソコンなどに保存(バックアップ)してください。再設定時はconfigフォルダ内にバックアップしたファイルを入れ[SD選択]で読み込むと初期設定が反映されます。

6.専用ソフトで[送信設定]を行う(☛ P.5)

7.設定したSDカードをドライブレコーダー本体に装着し、電源ONする

自動でドライブレコーダー本体に設定が反映されます。

※設定反映後は、SDカード内に作成されたipcfg/ssid/apchange.ini ファイルは削除されます。

これでこの作業は終了です。

プロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合は設定が必要になります。

※ イン트라ネット内にサーバーがある場合は設定は不要（プロキシ設定：無効）です。

■ プロキシ設定：無効

設定項目	設定内容	設定例
プロキシ設定	無効	-
プロキシIP	未使用	0.0.0.0
プロキシポート	未使用	空欄
プロキシドメイン	未使用	空欄
プロキシ認証	無効	-
プロキシ認証ID	未使用	空欄
プロキシ認証パスワード	未使用	空欄

■ プロキシ設定：有効 (パスワード設定なし、ドメイン設定なし)

設定項目	設定内容	設定例
プロキシ設定	有効	-
プロキシIP	IP	192.168.42.5
プロキシポート	ポート	3128
プロキシドメイン	未使用	空欄
プロキシ認証	無効	-
プロキシ認証ID	未使用	空欄
プロキシ認証パスワード	未使用	空欄

■ プロキシ設定：有効 (パスワード設定なし、ドメイン設定あり)

設定項目	設定内容	設定例
プロキシ設定	有効	-
プロキシIP	未使用	0.0.0.0
プロキシポート	ポート	3128
プロキシドメイン	ドメイン名	yupi.jp
プロキシ認証	無効	-
プロキシ認証ID	未使用	空欄
プロキシ認証パスワード	未使用	空欄

■ プロキシ設定：有効 (パスワード設定あり、ドメイン設定なし)

設定項目	設定内容	設定例
プロキシ設定	有効	-
プロキシIP	IP	192.168.42.5
プロキシポート	ポート	3128
プロキシドメイン	未使用	空欄
プロキシ認証	有効	-
プロキシ認証ID	ID	user
プロキシ認証パスワード	PW	password

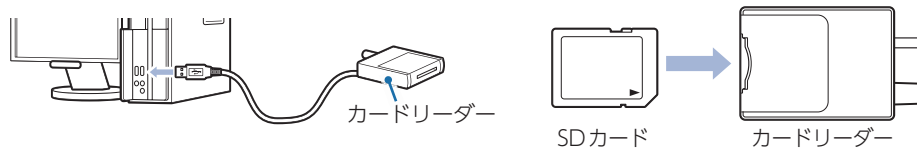
■ プロキシ設定：有効 (パスワード設定あり、ドメイン設定あり)

設定項目	設定内容	設定例
プロキシ設定	有効	-
プロキシIP	未使用	0.0.0.0
プロキシポート	ポート	3128
プロキシドメイン	ドメイン名	yupi.jp
プロキシ認証	有効	-
プロキシ認証ID	ID	user
プロキシ認証パスワード	PW	password

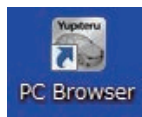
記録設定画面について

本機の設定を変更することができます。

1. カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードを接続する



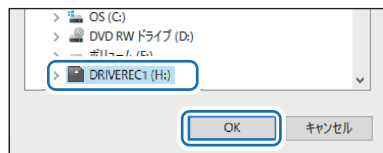
2. デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする



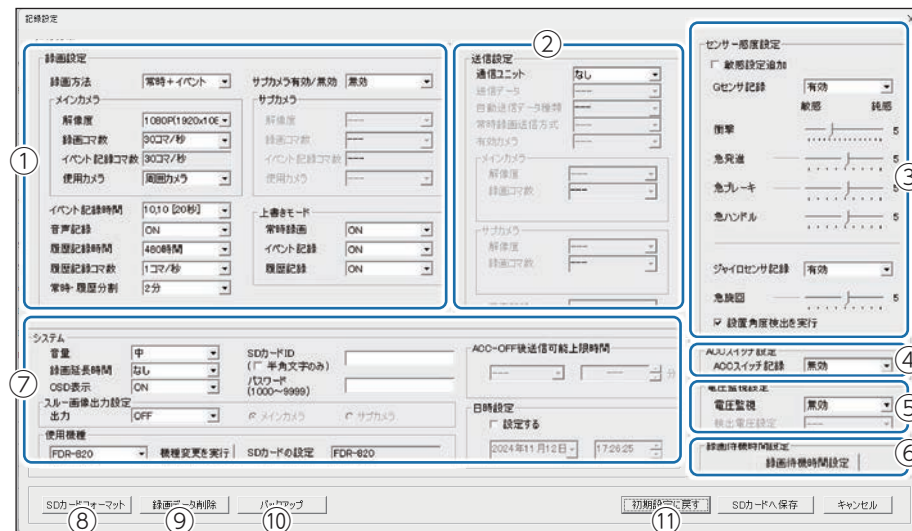
3. [ツール] ⇒ [記録設定] をクリックする



4. [DRIVEREC1] を選択し [OK] をクリックする



記録設定画面を表示します。



設定変更後は、必ず[SDカードへ保存]をクリックして設定をSDカードに保存してください。

① 録画設定

★：初期値

表示名	説 明
録画方法	録画する方法を選択します。[常時録画][イベント記録][★常時+イベント] ※メインカメラおよびサブカメラの解像度が[1080P]かつメインカメラおよびサブカメラの録画コマ数が[30コマ/秒]の時、[常時録画+イベント]は選択できません。
解像度	記録する映像の解像度を選択します。[★1080P(1920×1080)][1536×1080][720P][VGA]
録画コマ数	記録する映像のコマ数を選択します。 [★30コマ/秒][15コマ/秒][10コマ/秒][5コマ/秒][1コマ/秒][2コマ/分] [1コマ/分][12コマ/時][6コマ/時]
イベント記録コマ数	メインカメラの録画コマ数が反映されます。 ※メインカメラの録画コマ数が[2コマ/分][1コマ/分][12コマ/時][6コマ/時]に設定した場合、イベント記録コマ数は[1コマ/秒]になります。
使用カメラ	使用しているカメラを選択します。 [広角カメラ(OP-CM201WP)][★周囲カメラ(OP-CM361WP/OP-CM360WP)]
イベント記録時間	イベント記録時間(前、後)を選択します。 20秒:(★10,10)、(12,8)、(15,5) 30秒:(18,12)、(20,10)、(25,5) 40秒:(20,20)、(25,15)、(30,10) 50秒:(30,20)、(25,25)、(40,10) 60秒:(30,30)、(40,20)、(50,10) ※サブカメラ有効/無効を[有効]にした場合、メインカメラの解像度・録画コマ数によって設定できるイベント記録時間は異なります。
音声記録	音声も記録する場合に[ON]にします。[★ON][OFF]
履歴記録時間	ログ(加速度/時間)を記録する時間を選択します。[--(OFF)][24時間][168時間][★480時間]
履歴記録コマ数	1秒間に記録する履歴記録のコマ数を選択します。[★1コマ/秒][2コマ/秒]
録画データ分割	録画1データを分割して記録する場合に[2分]を選択します。[なし][★2分]
サブカメラ有効/無効	カメラを増設した場合に[有効]にします。[有効][★無効]
上書きモード	[ON]にするとSDカードの容量がいっぱいになると古いデータから順に上書きされます。 ★すべて[ON]

② 送信設定 ※別売品の通信ユニット(OP-WLAN1/OP-WLAN2/OP-LTE1)が必要になります。 ★：初期値

表示名	説 明
通信ユニット	使用する通信ユニットを選択します。[★なし][OP-WLAN1][OP-WLAN2][OP-LTE1]
送信データ	動作ストリームを選択します。[1st][2nd] 1st：SDカード記録とデータ送信は同じ設定のストリームを使用します。 2nd：SDカード記録とデータ送信は別々のストリームを作成します。
自動送信データ種類	送信する方法を選択します。[なし][常時録画][イベント記録][常時+イベント][履歴記録][常時+履歴][イベント+履歴][常時+イベント+履歴]
常時録画送信方式	通信時の動作を選択します。[応答あり][応答なし] 応答あり：送信データをSDカードに保存し、古い順に読みだして送信します。また送信できなかったデータも送信可能になった時点で送信できなかった古いデータから順次送信します。 応答なし：送信データをSDカードに保存せずに順次送信します。また、送信できなかったデータは破棄されます。 ※[イベント記録][履歴記録]の送信方式は[応答あり]で固定されます。 ※[常時+イベント+履歴記録]の送信方式は[応答なし]で固定されます。
有効カメラ	有効なカメラを選択します。[メインカメラ][サブカメラ][メイン+サブ]
解像度	送信する映像の解像度を選択します。[1080P(1920×1080)][1536×1080][720P][VGA] ※動作ストリーム[2nd]設定時、解像度は同じものしか設定できません。 1080P(1920×1080)/720P：720Pのみ、1536×1080/VGA：VGAのみ
録画コマ数	送信する映像の録画コマ数を選択します。[30コマ/秒][15コマ/秒][10コマ/秒][5コマ/秒][1コマ/秒][2コマ/分][1コマ/分][12コマ/時][6コマ/時] ※動作ストリームや録画方法によって設定できる録画コマ数は異なります。(P.9)
音声記録	音声も送信する場合に[ON]にします。[ON][OFF]

③ センサー感度設定 ★：初期値

表示名	説 明													
敏感設定追加	✓を入れると「急発進」「急ブレーキ」「急旋回」に敏感設定の4段階が追加され感度設定が1～13段階に変化します。													
	✓なし	—				1	2	3	4	5	6	7	8	9
	(←敏感 鈍感→)				↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
	✓あり	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	※✓なしの[1～9]と、✓ありの[5～13]は同じ感度になります。													
G センサ記録	[有効]にするとGセンサー記録を行います。[★有効][無効]													
衝撃/急発進 /急ブレーキ /急ハンドル	各感度を設定します。 衝撃[1～15(★5)]、急発進/急ブレーキ/急ハンドル[1～9(★5)] ※敏感設定追加時、急発進/急ブレーキ[1～13(★9)]													
ジャイロセンサ 記録	[有効]にするとジャイロセンサー記録を行います。[★有効][無効]													
急旋回	急旋回の感度を設定します。[1～9(★5)] ※敏感設定追加時、[1～13(★9)]													
設置角度検出 を実行	センサユニットを初めて取り付けたり、設置場所を変更した場合に✓を入れ行ってください。													

④ ACCスイッチ設定 ★：初期値

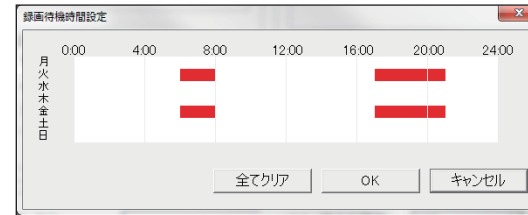
表示名	説 明
ACCスイッチ記録	[有効]にするとACC ONをトリガとしてイベント記録を行います。[有効][★無効]

⑤ 電圧監視設定※¹ ★：初期値

表示名	説 明
電圧監視	[有効]にすると録画延長中に常時電源(+B)の電圧を監視します。[有効][★無効]
検出電圧設定	設定した電圧以下になると、電源を切ります。 [★11.6V][11.8V][12.0V][12.2V][23.6V][24.0V][24.2V]

※1：電源コード(黄)を常時電源(+B)に接続した場合に使用可能となります。

⑥ 録画待機時間設定※¹ あらかじめ録画待機時間設定を行うことで電源ONからすぐに録画を開始することができます。



※待機中は消費電力が増加します。
あらかじめご了承ください。

⑦ システム ★：初期値

表示名	説 明
音量	[ON]にするとイベント記録時に音が鳴ります。[OFF][小][★中][大]
SDカードID	SDカードIDを設定できます。SDカードIDと本機IDをログに書き込むことでSDカードと本機の管理に役立てることができます。 ※[□半角文字のみ]に✓を入れると、入力は半角のみとなります。
録画延長時間※ ¹	車両停止(ACC OFF)しても設定時間は電源を保持します。 [★なし][1分][3分][5分]
パスワード	設定を変更できないようにパスワードを設定できます。(1000～9999の4桁)
OSD表示	[ON]にするとスルー画に本体内部蔵時間が表示されます。[★ON][OFF]
スルー画出力設定	スルー画のカメラ/表示方法を選択します。 [★OFF][ON][ON左右反転][ON上下反転][ON上下左右反転] [★メインカメラ][サブカメラ]
使用機種	使用する機種を選択します。
ACC-OFF後送信可能上限時間※ ¹	未送信のデータがあった場合、車両停止(ACC OFF)後にデータ送信する時間を設定できます。 [送信なし][★時間指定(30分)][無制限] ※別売品の通信ユニット(OP-WLAN1/OP-WLAN2/OP-LTE1)が必要になります。 ※送信途中でも設定時間で電源OFFします。また、未送信データの送信完了後は設定時間に問わず電源OFFします。⑤録画待機時間設定が有効な時間の場合は、電源OFFせず録画待機中になります。
日時設定	✓を入れると、日付や時刻を設定できます。 ※本機が電源ONするとSDカードから読み込み、日時を修正します。現在時刻ではなく、次に本体を電源ONする日付や時刻を想定して設定してください。また、時刻がずれる場合がありますので定期的に行ってください。 ※別売品の防水GPSユニット(OP-GPS1)を取り付けた場合、GPSで取得した日時情報で自動補正されます。

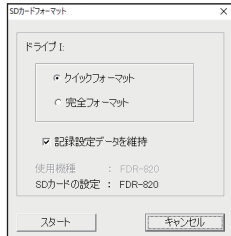
※1：電源コード(黄)を常時電源(+B)に接続した場合に使用可能となります。

⑧ SDカードフォーマット

一度SDカード内のデータをすべて消去し、必要なデータを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合にフォーマットを行ってください。また、本機では断片化が起きない独自のファイルシステムを採用しており、定期的なフォーマットは不要です。

※パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

※必ずSDHC規格またはSDXC規格に対応したカードリーダーやカードスロットをご使用ください。それぞれの規格に対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。



・クイックフォーマット

録画データを消去する簡易的なフォーマットのため短時間で終了します。

・完全フォーマット

SDカード内のチェックを行いながらフォーマットするため時間がかかります

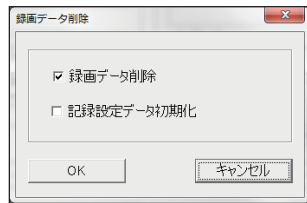
・記録設定データを維持

☒を入れると、SDカードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。

☒を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録設定データは削除されます。

⑨ 録画データ削除

録画データの削除、または記録設定データを初期化します。



・録画データ削除

録画データを削除します。

・記録設定データ初期化

記録設定データを初期化します。

※録画データの削除と記録設定データ初期化を同時に行う場合は、両方に☒を入れてください。

⑩ バックアップ

SDカードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップします。



⑪ 初期設定に戻す

記録設定データを初期化します。

1. ランプの表示について

本体上部のランプの点灯で本機の状態がわかります。



<メインユニット>



<通信ユニット(OP-LTE1)>

■ 録画ランプについて

状態	タイプ	通常/駐車	上書き	点灯パターン
録画中	常時録画中	通常時	なし	
			あり	
	イベント記録中	共通	なし	
			あり	
停止中		共通		消灯

■ 電源ランプについて

状態	ネットワーク*1	点灯パターン
電源(AAC) ON	送信中	
	非送信中(未接続/送信データ無し)	
	サーバーと接続できない	
	データ送信遅延	
電源(AAC) OFF	送信中	
	非送信中(未接続/送信データ無し)	
	サーバーと接続できない	
	データ送信遅延	

※1：別売品の通信ユニット(OP-WLAN1/OP-WLAN2/OP-LTE1)の接続が必要になります。

■ エラー時の点灯について

状態	タイプ	点灯パターン
エラー	録画ランプ	
	電源ランプ	

■ 通信ユニット(OP-LTE1)点灯について

状態	ランプ	点灯パターン
ユニット電源 ON	電源ランプ	
ユニット電源 OFF	電源ランプ	消灯
通信有効	通信ランプ	
通信無効/通信準備中	通信ランプ	消灯

2. 警告音/アナウンスについて

本体の動作状況を警報音/アナウンスでお知らせします。

項目	状態	音声/音
録画動作	イベント記録時	『ピー』
エラー	SDカード未挿入時	『SDカードが挿入されていません。SDカードを確認してください』
	SDカードフォーマットエラー時 SDエラー時	『SDカードエラーです』
	SDカード上限時(常時)	『常時録画の容量が不足しているため、録画を開始できません』
	SDカード上限時(イベント)	『イベント記録の容量が不足しているため、イベント記録ができません』
	SDカード上限時(履歴)	『ピーピーピーピー』
	カメラ無し(カメラ1)	『ピーーーー』
	カメラ無し(カメラ2)	『ブブブ』
	センサユニット未接続時	
システム	ファームウェア更新開始時	『ソフトウェアアップデートを開始します』
	ファームウェア更新完了時	『ソフトウェアアップデートを終了しました』

送信設定の使用可能コマ数

動作ストリームや録画方法によって設定できる録画コマ数は異なります。

▲：OP-LTE1は非対応

※メインカメラとサブカメラの録画コマ数が同じ場合

送信データ (動作ストリーム)	有効カメラ	録画方法	常時録画 通信応答	データ送信解像度＋使用可能コマ数			
				1080P(1920×1080)	1536×1080	720P	VGA
1st	メインorサブ	常時＋イベント＋履歴	なし	▲常時 10コマ/秒、イベント10コマ/秒 ▲常時 5コマ/秒、イベント5コマ/秒 常時 1コマ/秒、イベント1コマ/秒 常時 1コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 2コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 6コマ/時、イベント1コマ/秒 常時 12コマ/時、イベント1コマ/秒	▲常時 10コマ/秒、イベント10コマ/秒 ▲常時 5コマ/秒、イベント5コマ/秒 常時 1コマ/秒、イベント1コマ/秒 常時 1コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 2コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 6コマ/時、イベント1コマ/秒 常時 12コマ/時、イベント1コマ/秒	▲常時 15コマ/秒、イベント15コマ/秒 ▲常時 10コマ/秒、イベント10コマ/秒 常時 5コマ/秒、イベント5コマ/秒 常時 1コマ/秒、イベント1コマ/秒 常時 1コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 2コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 6コマ/時、イベント1コマ/秒 常時 12コマ/時、イベント1コマ/秒	▲常時 30コマ/秒、イベント30コマ/秒 ▲常時 15コマ/秒、イベント15コマ/秒 常時 10コマ/秒、イベント10コマ/秒 常時 5コマ/秒、イベント5コマ/秒 常時 1コマ/秒、イベント1コマ/秒 常時 1コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 2コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 6コマ/時、イベント1コマ/秒 常時 12コマ/時、イベント1コマ/秒
		イベント記録＋履歴	設定不可	▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 1コマ/秒	▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 1コマ/秒	▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒
		常時録画＋履歴	なし	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時
		常時録画＋履歴	あり	▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時
		履歴	設定不可	30コマ/秒 15コマ/秒 10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	30コマ/秒 15コマ/秒 10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	30コマ/秒 15コマ/秒 10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	30コマ/秒 15コマ/秒 10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時

▲：OP-LTE1は非対応

※メインカメラとサブカメラの録画コマ数が同じ場合

送信データ (動作ストリーム)	有効カメラ	録画方法	常時録画 通信応答	データ送信解像度＋使用可能コマ数			
				1080P(1920×1080)	1536×1080	720P	VGA
1st	メイン＋サブ	常時＋イベント＋履歴	なし	▲常時 10コマ/秒、イベント10コマ/秒 ▲常時 5コマ/秒、イベント5コマ/秒 ▲常時 1コマ/秒、イベント1コマ/秒 ▲常時 1コマ/分、イベント1コマ/秒 ▲常時 2コマ/分、イベント1コマ/秒 ▲常時 6コマ/時、イベント1コマ/秒 ▲常時 12コマ/時、イベント1コマ/秒	▲常時 10コマ/秒、イベント10コマ/秒 ▲常時 5コマ/秒、イベント5コマ/秒 ▲常時 1コマ/秒、イベント1コマ/秒 ▲常時 1コマ/分、イベント1コマ/秒 ▲常時 2コマ/分、イベント1コマ/秒 ▲常時 6コマ/時、イベント1コマ/秒 ▲常時 12コマ/時、イベント1コマ/秒	▲常時 15コマ/秒、イベント15コマ/秒 ▲常時 10コマ/秒、イベント10コマ/秒 常時 5コマ/秒、イベント5コマ/秒 常時 1コマ/秒、イベント1コマ/秒 常時 1コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 2コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 6コマ/時、イベント1コマ/秒 常時 12コマ/時、イベント1コマ/秒	▲常時 30コマ/秒、イベント30コマ/秒 ▲常時 15コマ/秒、イベント15コマ/秒 ▲常時 10コマ/秒、イベント10コマ/秒 常時 5コマ/秒、イベント5コマ/秒 常時 1コマ/秒、イベント1コマ/秒 常時 1コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 2コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 6コマ/時、イベント1コマ/秒 常時 12コマ/時、イベント1コマ/秒
		イベント記録＋履歴	設定不可	▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 1コマ/秒	▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 1コマ/秒	▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒
		常時録画＋履歴	なし	▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時
		常時録画＋履歴	あり	▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 ▲1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 ▲1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時
		履歴	設定不可	30コマ/秒 15コマ/秒 10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	30コマ/秒 15コマ/秒 10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	30コマ/秒 15コマ/秒 10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	30コマ/秒 15コマ/秒 10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時

▲：OP-LTE1は非対応

※メインカメラとサブカメラの録画コマ数が同じ場合

送信データ (動作ストリーム)	有効カメラ	録画方法	常時録画 通信応答	データ送信解像度＋使用可能コマ数			
				1080P(1920×1080)	1536×1080	720P	VGA
2nd	メインorサブ	常時＋イベント＋履歴	なし	設定不可	設定不可	常時 5コマ/秒、イベント5コマ/秒 常時 1コマ/秒、イベント1コマ/秒 常時 1コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 2コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 6コマ/時、イベント1コマ/秒 常時 12コマ/時、イベント1コマ/秒	常時 5コマ/秒、イベント5コマ/秒 常時 1コマ/秒、イベント1コマ/秒 常時 1コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 2コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 6コマ/時、イベント1コマ/秒 常時 12コマ/時、イベント1コマ/秒
		イベント記録＋履歴	設定不可	設定不可	設定不可	▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒
		常時録画＋履歴	なし	設定不可	設定不可	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時
		常時録画＋履歴	あり	設定不可	設定不可	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時

▲：OP-LTE1は非対応

※メインカメラとサブカメラの録画コマ数が同じ場合

送信データ (動作ストリーム)	有効カメラ	録画方法	常時録画 通信応答	データ送信解像度＋使用可能コマ数			
				1080P(1920×1080)	1536×1080	720P	VGA
2nd	メイン＋サブ	常時＋イベント＋履歴	なし	設定不可	設定不可	常時 5コマ/秒、イベント5コマ/秒 常時 1コマ/秒、イベント1コマ/秒 常時 1コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 2コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 6コマ/時、イベント1コマ/秒 常時 12コマ/時、イベント1コマ/秒	常時 5コマ/秒、イベント5コマ/秒 常時 1コマ/秒、イベント1コマ/秒 常時 1コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 2コマ/分、イベント1コマ/秒 常時 6コマ/時、イベント1コマ/秒 常時 12コマ/時、イベント1コマ/秒
		イベント記録＋履歴	設定不可	設定不可	設定不可	▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒
		常時録画＋履歴	なし	設定不可	設定不可	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲30コマ/秒 ▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時
		常時録画＋履歴	あり	設定不可	設定不可	▲10コマ/秒 5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時	▲15コマ/秒 ▲10コマ/秒 ▲5コマ/秒 1コマ/秒 1コマ/分 2コマ/分 6コマ/時 12コマ/時

■ 送信設定における共通ルール

- ① 1stのメインカメラおよびサブカメラの解像度は、1stのメインカメラ解像度 $\geq$ 1stのサブカメラ解像度にしてください。(例 メインカメラ:720P⇒サブカメラ：720またはVGAのみ)
- ② 2ndのメインカメラおよびサブカメラの解像度は、1stで選択した解像度と同じ比率を選択してください。(例 1st：1080P(16：9)⇒2nd：720P(16：9)のみ)
- ③ 1stのメインカメラおよびサブカメラのコマ数は、1stのメインカメラコマ数 $\geq$ 1stのサブカメラコマ数にしてください。(例 メインカメラ：10コマ/秒⇒サブカメラ：10コマ/秒または5コマ/秒以下)
- ④ 1stおよび2ndのイベント記録コマ数は、イベント記録コマ数 $\geq$ 1コマ/秒にしてください。録画方法が「常時＋イベント」の設定で、1コマ/秒 $\geq$ 常時録画コマ数の設定の場合、イベント記録コマ数は1コマ/秒となります。(例 常時録画コマ数：1コマ/分⇒イベント記録コマ数：1コマ/秒)
- ⑤ 1stのサブカメラのコマ数は、メインカメラのコマ数の約数にしてください。(例 メインカメラ：15コマ/秒⇒サブカメラ：15コマ/秒または5コマ/秒)
- ⑥ 2ndのコマ数は、1stのコマ数の約数にしてください。(例 1st：15コマ/秒⇒2nd：15コマ/秒または5コマ/秒)